

多良海道を往く

多良宿



弘法大師堂
城の辻城址
梵字石
正円寺墓地
古賀宿上使屋跡
川上神社跡
太良嶽神社
多良宿上使屋跡
海中鳥居
岳の新太郎墓碑
一里塚跡

荒徳神社跡
留岡八幡社 (城跡)
六地藏石幢
夏坂
城山城址
畑田八幡宮
幸せの鐘
大魚神社
円教寺
大楳池
矢答水置場



矢答峠

歩く海道マップ



多良海道とは

長崎街道多良往還・多良道・

諫早街道などとも呼ばれ、

永昌宿(長崎県諫早市)〜

塩田宿(佐賀県嬉野市)間の総距離

十二里八町(約四十八km)の

ルートを指す。

途中、湯江追分からは

山あいのルートと有明海沿いのルートの

二手に分かれるが多良宿で合流する。

有明海沿いのルートを「竹崎街道」と呼ぶ。

⑦幸せの鐘



「良いことが多い駅」と書く駅名にちなんで、JR 多良駅のホームに設置されている。1 回鳴らすと幸せを呼び、2 回鳴らすと 2 人が幸せに。そして 3 回鳴らすと皆が幸せになると言われている。

⑧多良宿上使屋跡(蘇鉄)



古賀宿にあった上使屋が、元禄 12 (1699) 年の多良川の氾濫によって流出。その後大魚神社の南にあった庄屋跡に移され、諫早家臣、江口家が留守居役を任された。現在も樹高 10m 以上のソテツが残っている。かつて、近くには酒屋、菓子屋、豆腐屋などがありにぎわった。

⑬川上神社跡



創立年代は不詳。祭神は淀姫命・少毘古那命・秋津姫命。昭和 43 (1968) 年に荒穂神社との合祀の話しが持ち上がり、3 年後の昭和 46 (1971) 年に遷座された。社殿は解体され、社の跡はゲートボール場になっている。

⑭城山城址



小高い山の上に広がる長さ約 70m、幅約 40m の広い平地。三方は断崖、西の方の入口には空濠があり、南北朝時代の城跡と伝えられている。入口には佐賀の乱で敗れ、多良にきた武士・志波芳孝の墓碑が建っている。

⑨大魚神社



創建年代は不詳。祭神は海神。大魚大明神とも呼ばれる。諫早家第 6 代領主茂元公が天和 2 (1682) 年社殿を再興、元禄 6 (1693) 年鳥居を建立し、開運満足、領内の安全祈願所とした。

⑩海中鳥居



江戸時代、手を焼いていた悪代官を村人が示し合わせて沖ノ鳥へ誘い、酒に酔ったところを置き去りにした。代官は龍神様に助けを求めたところ、海中より大魚が出てきて背中に乗せて救った。感激した代官が大魚神社と共に海中に鳥居を建立したのが始まりと言われる。現在も代々建て替えられ続け、豊漁と海の安全を祈願し大切にされている。

⑮岳の新太郎墓碑



江戸時代中頃、金泉寺の寺侍だった岳の新太郎は、村中の娘たちを虜にするほどたいへんな美男子だった。当時、金泉寺は女人禁制だったため、娘たちは新太郎が山から下りてくるのを待ちわびていた。佐賀県を代表する民謡「ザンザ節」には、娘たちの慕情が謡われている。岳の新太郎は、後に第 9 世法印「賢恵大和尚位」となった。

⑯大蝮池



明治初期に完成したと思われる溜池。その後、堤防が決壊する危機があったため、昭和 12 (1937) 年から翌年にかけて、補強工事と面積拡張の大工事が行われた。総面積が増えたことで、水田の水不足も解消された。

⑪円教寺



慶長 18 (1613) 年に、この地に住む岡山新佐衛門 (法名：了因) により創建され、本堂には中国で名高い二十四孝を彫った極彩色の欄間がある。この寺は、諫早騒動 (一揆) と深い関係があり、領民 1 万 3~4 千人が多良に集結し、佐賀へ向かう途中、矢筈で説得された領民たちは、この円教寺境内で協議して、それぞれの村々に戻ったと言われている。

⑫古賀宿上使屋跡



寛文 4 (1664) 年に建てられ、幕府巡見使や佐賀藩主などが休泊。元禄 12 (1699) 年多良川の氾濫により流出し、多良宿へ移された。元禄以降も古賀はたびたび水害に遭った。写真は上使屋跡近くの酒蔵跡。

⑰一里塚跡

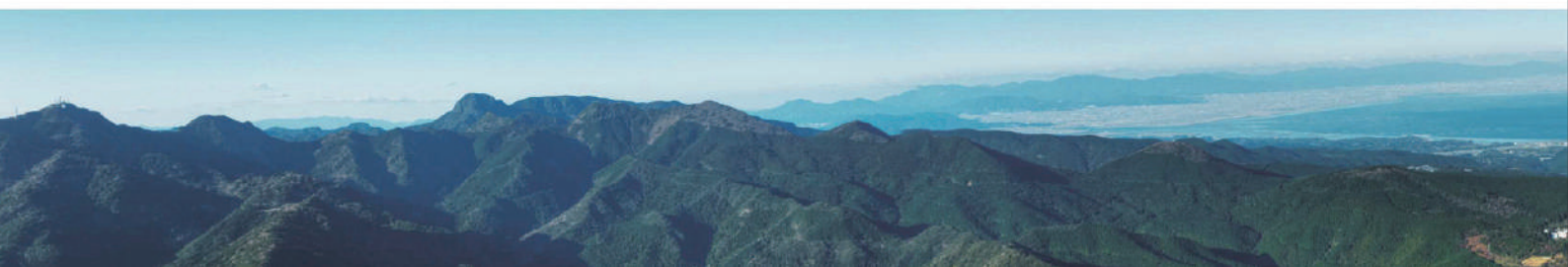


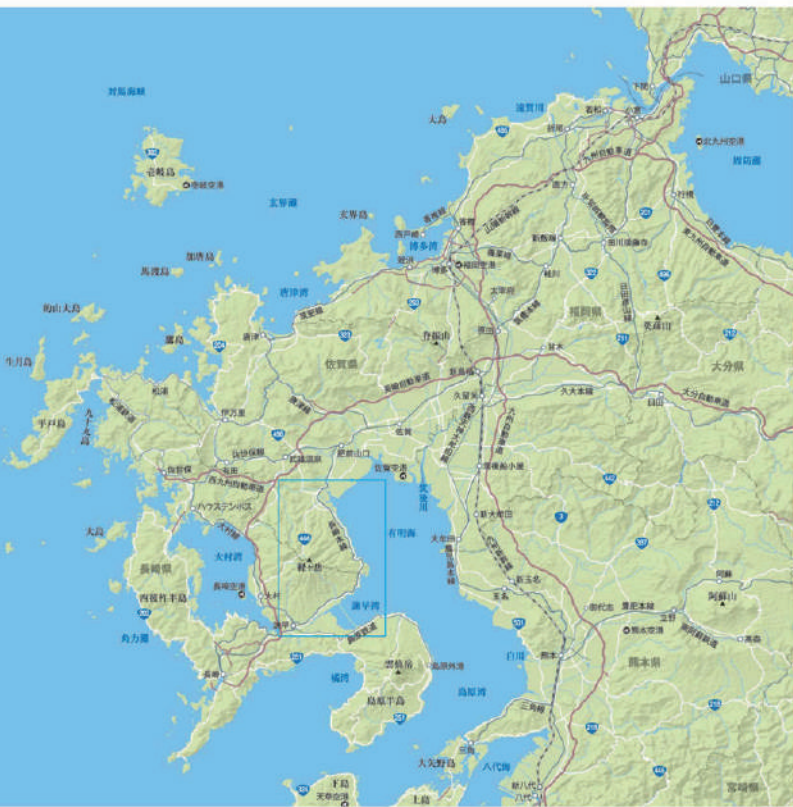
一里塚は 1 里 = 36 町 (約 3.927m) ごとに海道の両脇或いは片側に築かれていた。片峰の一里塚より 1 里 (約 4km)。

⑱矢筈水置場



佐賀藩主などの往来があると、鹿島藩から鉄砲組をここに配置して警備させた。現在も水は枯渇せず、清水が湧き出ている。近くには矢筈一ノ宮を通り太良嶽大権現上宮への参道があり、「太良嶽参詣路」と彫られた丁石がある。





諫早までのアクセス



福岡市内から約1時間40分／九州自動車道→長崎自動車道→諫早IC
佐賀市内から約1時間10分／長崎自動車道→諫早IC



福岡市内から約2時間20分／博多駅交通センター→諫早IC
佐賀市内から約1時間20分／高速基山→諫早IC



博多駅から約1時間30分／博多駅→諫早駅
佐賀駅から約1時間／佐賀駅→諫早駅

太良までのアクセス



福岡市内から約1時間40分／九州自動車道→武雄北方IC→太良
長崎市内から約1時間／長崎IC→諫早IC→太良



博多駅から約1時間30分／博多駅→多良駅
長崎駅から約1時間10分／長崎駅→多良駅

お問い合わせ

諫早市
(長崎県)



〒854-0016
長崎県諫早市高城町 5-10
(一社) 諫早観光物産コンベンション協会
Tel.0957-22-8325
<https://www.isahaya-kankou.com>

太良町
(佐賀県)



〒849-1601
佐賀県諫津郡太良町大字伊福甲 3488-2
道の駅太良 観光案内所内／太良町観光協会
Tel.0954-67-0065
<https://www.tara-kankou.jp/>

多良海道
ホームページ
<https://tarakaido.jp/>



©令和3年3月発行
©編集・発行／歴史の道観光・文化交流推進協議会
©デザイン／(株) イースワークス
©印刷／(株) インテックス

①弘法大師堂



小田の集落から1600 mほど山の方へ向かったところに、お大師様を祭った奥の院がある。弘法大師祭りの日には、おはぎ、餅など家々から持ち寄った品々を供え、四国巡礼と同じようにご詠歌を唱えながら巡ってきたお遍路さんにも、集落の婦人会が接待をしてもてなす。

②荒穂神社跡



糸岐の産土神社として祀られ、昭和46(1971)年に川上神社とともに太良嶽神社に合祀。社殿は解体されたため現存していない。かつて行われていた秋の例祭は、浮立などが奉納される盛大な祭りだった。

③留岡八幡社 (城跡)



八幡城の城跡にある神社で、鳥居に刻まれた銘によると、元禄6(1693)年頃の創建と思われる。ご神体は高さ60cm、幅45cmで明治初年頃の作と思われる木像の応神天皇像。昭和4(1929)年に本殿、昭和7(1932)年に拝殿がそれぞれ新築された。この城跡の東西に今も空堀の跡が見られる。(現在では畑になっている)

④六地藏石幢



誓願寺の西の丘を越える坂を檀徒坂といい、両側に一基ずつ六地藏が建つ。この様な重制石幢は佐賀・福岡・長崎・熊本などに多く分布している。寺院や墓地の入口に祀られることが多い。

⑤浅間神社



祭神は木花開耶姫このはなさくやひめ(瓊瓊杵尊の妃)。にぎぎのみこと創建は不詳。境内入口の明神鳥居は、江戸時代の貞享甲子元歳(1684)、諫早家第6代領主・茂元しげもとが奉建。

⑥太良嶽神社



昭和46(1971)年に、多良地区にあった川上神社、荒穂神社、太良嶽神社の三社を統合。油津海岸に新しい社が建立された。多良岳頂上の太良嶽神社は上宮として残り、各社の祭神はそのまま合祀している。秋の例祭では、多良川と糸岐川の北側と南側の区が2年おきに交代で浮立を奉納している。

多良海道MAP

(多良宿～矢答峠)

- 海道 (徒歩可) (車一部不可)
- - - 海道 (徒歩可) (車両方通行不可)
- 迂回路 (徒歩可) (車両方通行可)
- 歴史の道百選選定箇所



スマートフォンで
多良海道と現在地が
確認できます

〈歴史の道百選とは?〉

歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道・交通関係遺跡を「歴史の道」と呼び、文化庁が選定しています。令和元年10月に、多良海道の一部である、大越(諫早市高来町)～七曲～長坂～山茶花茶屋(諫早市小長井町)～船倉～矢答峠(佐賀県太良町)、小川原浦(諫早市小長井町)の2区間が歴史の道百選に選定されました。



有明海



1:23,000
0 100 200 300 400 500m





鹿島市

太良町

境石
矢答水置場

矢答天満宮

浜宿
婦人ホ一ム前

赤岩
赤岩公民館

藤永商店

奥山
奥山

山根

多良

下中山

多良川

音谷

中山

中山

大川内

大川内

音成

伊福川